

1年 伏見プラス・プロジェクト「おもてなし講座」を行いました。

10月20日（火）、27日（火）の2週にわたって、計3名の講師の先生をお招きして、「“おもてなし”を考えるうえで大切なこと」を教わりました。

・10月20日（火）

よろづや観光株式会社 代表取締役社長で、斬新なインターネット動画で話題となった加賀温泉郷の女性観光PRチーム「レディー・カガ」の仕掛け人としても有名な萬谷浩幸さんと、レディー・カガとしてご活躍の中村友理さんにお話をうかがいました。

萬谷さんは、生まれた地を好きになること、それに加えて個人の個性を磨き、そこから発する魅力を伝えることが「おもてなし」の本質であると語られました。

中村さんは、相手がこうしてもらいたいと思うことを、求められる前に提供することが重要だと語られました。それは高校生の日常でもできることで、一緒にいる同級生のことを思って何ができるか、それを行動に移すことで快適な空間が出来上がるという貴重なアドバイスをいただきました。



萬谷浩幸さんの講演



床でメモをとりながら、
熱心に聴いています

・10月27日（火）

金沢市経済局営業戦略部プロモーション推進課課長の桑原秀忠さんをお迎えしてお話をうかがいました。

桑原さんは、新幹線開業に向けてのプロモーションを担当された経験から、アジア人観光客と欧米人観光客のニーズの違いにスピーディーに対応したこと、

地元の方々の気質を踏まえたイベント運営が必要なことなどを話されました。そして、「おもてなし」は“接客や笑顔”といった底の浅いものではない」「前提として、自分が地元をどれだけ楽しんでいるか、その熱い思いから発せられるものを相手に伝えることが、真の“おもてなし”となる」と語られました。まさに、先週の萬谷さんと同じ結論であったことに驚きを覚えました。

1年生 281名は、新幹線開業で大きく変化しようとしている地元の環境を格好の教材として、「おもてなし」について各自が考える機会を得て、熱心にメモを取っていました。



桑原秀忠さんの講演